

秋田市南カントリーエレベーター竣工式

7月22日(金)、秋田市南カントリーエレベーター(CE)の竣工式が開かれ、関係者約70名が完成を祝いました。今秋から稼働し、「あきたこまち」「めんこいな」「ぎんさん」の乾燥貯蔵や大豆の乾燥などを行います。同市南部では稲作の効率化のため大型乾燥調製施設を求める声上がり、平成29年に生産者有志によって建設準備委員会が発足しました。令和3年4月に着工し、今年3月に建設工事が完了しました。

(農)秋田市南CE利用組合の榎昌範代表理事は「CEの設立を進めてきたのは、地域農業を守るため。次代を担う若い人がCEを活用し、地域農業を発展させてくれるとうれしい」と話しました。



施設を起動させてCEの完成を祝う関係者

カボチャ出荷目揃え会

7月25日(月)、秋田地区の生産者を対象にしたカボチャの目揃え会が、青果物南流通センターで行われました。生産者約20名が他産地の情勢や収穫適期の基準、収穫後の管理方法などを学びました。同地区では8月下旬から学校給食向けの加工用に市場規格よりも大きくなったものや日焼けなどの規格外品を出荷しており、今年度の荷受けの日程も説明されました。

当JA管内では今年度、53名が「くり將軍」「夕陽かぼちゃ」などの栽培に取り組んでいます。例年、関東産が落ち着いて北海道産が増えるまでの端境期を中心に出荷しており、今年度も8月に最盛期を迎えました。



カボチャの等級基準を話し合う生産者

NEWS & TOPICS

3年ぶり夏のイベント盛況

新型コロナウイルスの感染対策を施しながら、管内各地で夏のイベントが3年ぶりに開催されました。

7月31日(日)、第34回日本海メロンマラソンが男鹿市若美地区で開かれ、県内外から2433名がエントリーしました。菅原広二男鹿市長や当JAの佐藤広美組合長らがスターターを担い、ランナーは海岸沿いや、メロン畑や水田などが広がるコースを颯爽と走り抜けました。参加者全員に、特産「わかみメロン」が贈られました。

1：軽快にスタートする10キロの部のランナー

2 3 JAマークが入った竿燈を掲げる当JA竿燈会職員と柳町竿燈会



1

8月3日(水)から6日(土)に開催された秋田竿燈まつりでは、当JA竿燈会もメイン会場の竿燈大通りで妙技を披露しました。4日(木)には当JA竿燈会と柳町竿燈会が、JA秋田なまはげ会館でJAマークが描かれた竿燈を高く掲げました。JA役員や近隣住民らは差し手の妙技と稲穂のように軋む竿燈に見入り、感染症対策のため歓声を出さずに拍手を送りました。



2



3

